

Wake On LAN リピータ 取扱説明書

Ver.5.0

スタアストーンソフト
www.starstonesoft.com

本製品の特長

- ・インターネット側からルータを越えてLAN内のPCをWake On LAN できます。
- ・ルータのWAN側に直接Wake On LAN のMagicPacketを送信する方法のほか、ブラウザでWake On LAN リピータにアクセスして送信することも可能です。
- ・簡単な操作やスクリプトで日時を指定してMagicPacketを送信する予約機能が使えますので指定時刻に指定のPCを起動予約することが可能です。
- ・オプションのUSB連動タップを二つまで接続することができ、ブラウザ上の操作でタップのオン、オフが行えるほか、ping応答監視、指定時刻のオン、オフが設定できます。

安全にお使いいただくために

- ⚠ 本製品の電源には付属のACアダプタ以外は使用しないでください。火災の原因になったり、機器が故障することがあります。
- ⚠ 煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントからプラグを抜いてください。
- ⚠ USB連動タップ専用端子には連動タップ以外のUSB機器を接続しないでください。故障の原因になります。

付属品を確認してください



- Wake On LAN リピータ 本体
- ACアダプタ
- ACアダプタ用マイクロUSBケーブル
- LANケーブル

Wake On LAN リピータの使い方

※詳細な図解入り使用方法説明が、<http://www.starstonesoft.com/wolrepeater.htm> にございます。本説明書とあわせてご参照ください。

接続と設定

1. SDカードがしっかり奥まで挿し込まれていることを確認してください。 抜けかかったまま電源を入れると故障することがあります。



2. 電源操作を行いたいパソコンが接続されているネットワークのルータのLAN側ポートとWake On LAN リピータのLAN端子をLANケーブルで接続してください。
ルータのLANポートに空きがない場合は、スイッチングハブなどで増設してください。
3. イヤホン端子にヘッドフォンやイヤホン、アクティブスピーカーを接続してください。
4. 電源端子にACアダプタ用マイクロUSBケーブルを挿しこみ、ACアダプタ側に接続後コンセントに挿しこんでください。
5. LAN端子およびマイクロSDカード差込口左側のランプが点滅し、起動が始まります。
6. 約30秒後に、Wake On LAN リピータがルータからDHCPで割り当てられたIPアドレスを知らせる音声がイヤホン端子から流れますので書き留めてください。
音声は3回繰り返して流れます。
(例)IPアドレスが192.168.11.8の場合
IPアドレスは 192.168.11.8 …の3回繰り返し
※イヤホンがない場合は、ルータのログやステータス画面で割り当てられたIPアドレスを確認することが出来ます。

7. 上記のIPアドレスに対して下記プロトコル・ポートをルータのポート転送設定に追加します。

| プロトコル | ポート番号 | 用途 |
|-------|-------|----------------------------------|
| UDP | 9 | ルータWAN側に届くMagicPacketをリピータに転送します |
| TCP | 80 | ブラウザを使ってリピータにアクセスします |

※ウェブサーバーのポート番号80は、設定画面上で変更が可能です。

すでにLAN内でウェブサーバーを使用している場合は80以外の数値を設定すると、既存ウェブサーバーとWake On LAN リピータの両方にポート転送設定が可能です。
また、ポート番号を80以外に設定したほうが外部からの攻撃を受けにくくなります。
ルータにポート転送設定する場合で、ルータにDHCPの固定割り当て機能がある場合は、Wake On Lan リピータに常に同じIPアドレスが割り当てられるように設定してください。
この設定がない場合は、後述する方法でWake On LAN リピータ側で固定することも可能です。
(固定をしなくても長時間の停電などがなければ問題はありません)

以上で使用準備が整いましたが、必要に応じて下記の設定を行ってください。

8. ブラウザでWake On LAN リピータに接続し、必要に応じて設定を行ってください。
LAN内のPCから接続する場合は、上記6. で書き留めたIPアドレスにアクセスします。
(例)IPアドレスが192.168.11.8の場合は <http://192.168.11.8>
インターネット側からアクセスする場合は、ルータのWAN側グローバルIPアドレスとなります。
(上記7. のポート転送設定が完了している必要があります。)
9. 認証画面が表示されますので下記を入力してください。
ユーザー名 Admin
パスワード Admin

10. メインメニューから必要な設定項目に進んでください。



各設定項目は以下の内容です。

- ①パスワード変更：ブラウザでアクセスするときのパスワード(デフォルトのAdmin)を変更します。パスワードは半角英数で8文字までで設定してください。
全角文字、特殊文字を使用するとアクセスできなくなる可能性があります。
- ②ダイナミックDNS：プロバイダと固定IPアドレスの契約をしていない場合は、停電後などにルータのWAN側グローバルIPアドレスが変化することがあります。
そのようなときに、IPアドレスをFQDN(例:hoge.test.com)に追従させるダイナミックDNSサービスを利用すると、外部からのアクセスができなくなるのを防ぐことができます。
本製品では noip.com, dyn.com, www.mydns.jp の各サービスに対応していますので、いずれかのサービスプロバイダにサインアップしたあと設定を行ってください。
- ③ネットワーク設定：本製品はデフォルトではIPアドレスをルータからDHCPで自動取得するようになっていますが、固定したい場合はこちらから設定を行ってください。
DHCPを無効に設定してIPアドレスを固定する場合、誤った設定により本機に接続が出来なくなることがあります。その場合はそのまま3分待ちますと、以前の設定に戻りますので、その後再度ページを開いて設定を確認してください。

使用方法

11. インターネット側からWake On LANのMagicPacketを送信してLAN内のPCの電源を投入
本製品は、UDPポート9番に届くMagicPacketをLAN内のブロードキャストアドレスあてに転送します。インターネット側からPCやスマホ用の適当なアプリケーションを使用し、ルータのWAN側IPアドレスまたは上記10. ②で設定したダイナミックDNSのFQDNあてにUDPポート9番あてのMagicPacketを送信してください。
弊社のフリーソフトWOLSwitchはWindows用のMagicPacket送信アプリですのでよろしければご利用ください。

12. インターネット側のPCやスマホのブラウザを使って操作する方法
上記8. の方法で、ブラウザでWake On LAN リピータのメインメニューを開きます。

- ① 手動でMagicPacketを送信してLAN内のPCの電源を入れるには、操作メニュー内の“MagicPacket送信”をクリックしてください。対象PCのMACアドレスを入力する画面になりますので、電源を入れたいPCのMACアドレスを入力してWakeUpボタンを押します。
- ② 日時指定をしてMagicPacketを送信する場合は、操作メニュー内の“MagicPacket送信予約(日時指定)”をクリックしてください。
電源を入れたい日時と対象PCのMACアドレスを入力する欄が表示されますので入力後にSetボタンを押して予約してください。
この機能は複数の予約を行うことができますので、複数のPCを異なる時刻に電源投入するようなことができます。
また、ブラウザでアクセスしなくても下記のページをアプリケーションなどから開くことにより予約を追加することができます。

(例) 2013年12月24日08時00分にMACアドレス00:11:22:33:44:55 のPCの電源投入予約
<http://リピータのアドレス/schedule.php?time=201312240800&mac=00:11:22:33:44:55>

上記内容をWindowsのVBスクリプトで実現するには、下記のサンプルをお試しください。

```
'LAN内にあるWake On LAN リピータに日時指定でMagicPacket送信予約をする
'スクリプトのサンプルです。

'Settings
strRepeaterIP="192.168.11.8" '(例)Wake On LAN リピータのIPアドレス
strDateTime="201312240800" '(例)2013年12月24日08時00分
strMacAddr="01:23:45:AB:CD:EF" '(例)電源を入れたいPCのMACアドレス
strUserName = "Admin" 'Wake On LAN リピータのユーザー名
strPassword = "Admin" 'Wake On LAN リピータのパスワード

'Open URL
strURL = "http://" + strRepeaterIP + "/schedule.php?time=" + strDateTime + "&mac=" + strMacAddr
Set objXMLHTTP = CreateObject("MSXML2.XMLHTTP.3.0")
objXMLHTTP.open "GET", strURL, false, strUserName, strPassword
objXMLHTTP.send()

'Finish
msgbox "セットしました"
```

メモ帳に上記コードをコピーし、拡張子.vbsで保存、ダブルクリックで起動すると、予約が追加されます。

なお、この機能は予約1回につき一度だけの単発動作ですが、同じスケジュールを繰り返し実行したい場合は次項③の機能をご利用ください。

③日時指定でのMagicPacket送信スケジュールを登録し、繰り返し実行するには、操作メニュー内の“MagicPacket送信予約(繰り返し実行)”をクリックしてください。
 この機能では、3個の異なるスケジュールにおいて、それぞれ10台分のPCのMACアドレスを登録することができます。スケジュールは“毎日”、“毎週(曜日指定)”、“毎月(日付指定)”の3種類から選択します。

送信スケジュールの設定 (繰り返し実行)
 現在の時刻 : 2017/01/10 09:31:25 (Tue)

3個のスケジュールを登録することができ、各スケジュールごとに10個までのMACアドレスを登録できます。

| | | | |
|---|---|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 有効 <input checked="" type="checkbox"/> 有 | <input type="radio"/> 毎日 <input type="radio"/> 毎週 (<input type="checkbox"/> 日 <input checked="" type="checkbox"/> 月 <input checked="" type="checkbox"/> 火 <input checked="" type="checkbox"/> 水 <input checked="" type="checkbox"/> 木 <input checked="" type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土) <input type="radio"/> 毎月 (日付 <input type="text" value="01"/> 例 01~31) | 時刻 (例 01:20, 18:30) <input type="text" value="14:00"/> | 例 (01:23:45:67:89:ab) MAC01 9C:8E:99:01:c6:95 MAC02 12:34:56:78:9a:bc MAC03 33:88:1d:24:55:ac MAC04 MAC05 MAC06 MAC07 MAC08 MAC09 MAC10 |
| | <input type="radio"/> 毎日 | | |

13. USB連動タップ(オプション)を操作

本製品にはUSB連動タップを接続するための端子が二つ用意されています。

注:連動タップ用端子は2列のUSBポートそれぞれの下段側です。

この端子に市販のUSB連動タップを接続することにより、ブラウザからタップの電源を切ったり入れたりすることができますようになります。フリーズしてしまったPCの電源を強制的に入れなおすような場合に便利です。

手動でOn、Offボタンを押して操作するほか、アドレスを指定してping応答を監視し、一定時間応答がないときに15秒間OffにしてからOnにする機能がありますので、ルータの不調でインターネット接続が切断された場合などにルータを再起動することや、サーバーのIPアドレスを指定してサーバーの死活確認と再起動することが可能です。

また、On、Offの時刻を設定することで、毎日定時に電源を入れたり切ったりすることが可能です。

USB連動タップの操作

手動で操作

現在の状態 SW1: on
現在の状態 SW2: on

| | | |
|-----|----|-----|
| SW1 | on | off |
| SW2 | on | off |

条件を設定して自動操作

Tap1

アドレス yahoo.com のping応答が 60 秒間無い場合に Off → On (機器の再起動)

毎日 00 時 00 分に On、00 時 00 分に Off (機器の自動運転)

Tap2

アドレス のping応答が 60 秒間無い場合に Off → On (機器の再起動)

毎日 07 時 00 分に On、06 時 59 分に Off (機器の自動運転)

※ping送信先アドレスは、外部の信頼できるサイト(例: yahoo.com)などに設定すると、インターネット接続が切れたときにルータやモデムを再起動させることが可能です。また、LAN内サーバーのIPアドレスを指定すればサーバーの死活確認と再起動が行えます。

※時刻指定の場合、OnとOffの時刻が同じ場合(例: 両方共00:00など)、その時刻に15秒間Offになったあと、Onに戻ります。

Apply

なお、この機能を使うには下記のようなUSB連動タップを別途ご用意ください。(2個使用できます)



例: サンワサプライ TAP-RE7U

※USB連動タップは上記製品にて動作確認をしております。

本製品のUSB連動タップ接続端子は、Power MOS FETを介して5V電源に直結されていますので、理論的にはACアダプタの電源容量一杯まで電流を流すことができますが、マイコン基板のパターン焼損やACアダプタの加熱などを避けるため、電流値は2個の端子合計で最大300mAまでです。市販のUSB連動タップ以外のものを接続する場合はこの範囲を超えないよう充分ご注意ください。なお、リレーを接続する場合は、必ず逆起電力対策のダイオードを付加してください。

故障かな、と思ったら

本機が起動しない

ステータスランプ(マイクロSDカード差込口の左側)の赤ランプが点灯していない場合
ACアダプタがしっかり刺さっているか確認してください。

ステータスランプの赤ランプだけが点灯している

SDカードが奥まで刺さっているか、LANケーブルが正しく接続されているか確認してください。
ACアダプタをコンセントから抜き、10分ほどまってから再度接続してみてください。

製品保証

本製品が故障した場合、ご購入から6ヶ月間は無償修理をいたします。
それ以降の故障につきましては個別にお見積りをさせていただきます。

また、ネットワーク設定を間違えて接続できなくなってしまった場合や、なんらかの原因でSDカード内のファイルが破損して動作しなくなった場合は、SDカードのイメージファイルをダウンロード提供し、お客様ご自身で書き換えを行っていただくことが可能です。
その際は下記までご連絡ください。

contact@starstonesoft.com

電話 050-5534-3883

Skype starstonesoft

©2014-2017 スターストーンソフト www.starstonesoft.com